

【奨励賞】

Portfolio City

～国民性×Z世代の新たな投資促進プログラム～

同志社大学	経済学部	永石	萌絵
		〃	青木 大星
		〃	石津 玲奈
		〃	柴田 健斗
		〃	長澤 大貴

（要旨）

近年、日本人の資産形成へ向けた意識自体は高まってきているものの、依然として、現預金を中心とした安全資産の比率が高い状態が続いている。実際の投資行動に移行できない原因を明らかにするために分析を行ったところ、日本人の資産形成が進展しない原因として、現状維持・損失回避・現在志向といった国民性（日本人特有のバイアス）が影響していることを突き止めた。

本論文では、こうした日本人の投資行動の阻害要因を解消し、特に資産形成が進んでいないZ世代に向けて、資産形成促進プログラム“Portfolio City”を提言する。投資行動の阻害要因を解消するためには、行動経済学上の知見から、デフォルト効果・損失の可視化・短期的インセンティブという3つの仕組みを取り入れる。また、Z世代にとって親和性の高いメタバース空間上で、投資を体験・実践する。

本提言を通じて、Z世代を中心とした日本人全体の資産形成に向けた投資行動が促進されることを期待する。